

# 10<sup>th</sup> Anniversary

## 活気ある 故郷の創生を目指して

2016年に「みんなと倶楽部・掛塚」は  
活動をスタートしました

みんなと倶楽部  
My hometown Kaketsuka



私たちは、掛塚の街を元気にしようと、  
二〇一六年に「みんなと倶楽部・掛塚」と  
いう会を立ち上げました。

掛塚の街の成り立ちや先人の苦勞を学ぶと  
ともに、旧津倉邸を中心とした、掛塚の歴  
史資産を有効活用し活気ある故郷の創生を  
目指したいと思ひ活動をしています。



国登録有形文化財「旧津倉家住宅主屋」「旧津倉家住宅応接棟」「旧津倉家住宅土蔵」

## 池田藤平

みんなと倶楽部掛塚 会長



みんなと倶楽部・掛塚は、皆さまに支えられ、このたび設立10周年という大きな節目を迎えることができました。これまで温かいご理解とご協力を賜りました地域の皆さま、関係者の皆さまに、心より感謝申し上げます。

私たちはこの10年間、掛塚の魅力を見つめ直し、地域に眠る歴史や文化、人のつながりを掘り起こしながら、次の世代へとつないでいくことを目指して活動を続けてまいりました。

掛塚は、古くから天竜川河口の港町として栄え、商人文化が息づく地域です。江戸期には物資の集散地として多くの廻船問屋が軒を連ね、その繁栄ぶりから「遠州の小江戸」と称されるほどのにぎわいを誇りました。その歴史は、今も町並みや建築の随所に息づき、訪れる人々に往時の面影を伝えていきます。

その象徴的な存在が「旧津倉邸」です。掛塚を代表する廻船問屋であった津倉家の邸宅は、当時の暮らしや文化を今に伝える貴重な歴史遺産であり、地域の誇りでもあります。私たちは、この大切な文化財を守りながら、学びや交流の場として活用し、地域に開かれた拠点として次代へ引き継いでいきたいと考えています。

また、「掛塚祭り」は、地域の伝統と絆を今に伝える欠かすことのできない行事です。勇壮な屋台の曳き回しを支える人々の情熱、世代を超えて受け継がれる誇りは、掛塚の精神そのものといえるでしょう。祭りを通じて生まれる一体感と笑顔は、私たちの活動の原動力でもあります。

みんなと倶楽部・掛塚は、この10年の歩みを礎に、これからも地域の皆さまとともに、掛塚の魅力を守り、育て、未来へとつないでまいります。次の10年も、変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

今後とも、みんなと倶楽部・掛塚をよろしくお願い申し上げます。

みんなと倶楽部掛塚 副会長

## 松山 眞



私がか子どもの頃の掛塚の町には多くの店が立ち並び、「掛塚へ行けば何でもそろろう」と言われるほど、人々で賑わっていました。

それから時が流れ、10年ほど前、旧廻船問屋である津倉家住宅が磐田市へ寄贈されるという話を耳にしました。その頃には商店の多くが店を閉じ、町は静かな佇まいとなっていた中で、「旧津倉家を拠点として掛塚の文化財を守り、町にかつての活気を取り戻す」という目的を持った支援団体が立ち上がることを知りました。地域に活気が戻り、住民の皆さんの暮らしが少しでも明るくなるのなら、微力ながら力になりたいと思い、活動に加わりました。

こうした思いを共有する仲間が集まり、二〇一六年に「みんなと倶楽部掛塚」として活動がスタートし、10周年を迎えることとなりました。当初は、庭の草刈りや屋内の清掃など、できることから一つひとつ取り組み、特に庭の手入れでは、文化財課の職員の方々とともに、地道な作業を重ねてきたことが思い出されます。

活動を続ける中で、地域の皆様のご理解とご協力があったからこそ、前に進むことができたのだと、あらためて実感しています。掛塚には、先輩方が築いてこられた人と人とのつながりがあり、その力をお借りしながら、少しずつ歩みを重ねてきました。

私自身、長年お囃子保存会の会長として、さまざまな行事に携わってきました。そうした経験も、今日の活動に生かされているものと感じています。

今年度は、いわた大祭りの掛塚開催や津倉邸玄関前への案内看板設置など、これまでの取り組みが形となって表れました。これも、日頃から支えてくださっている皆様のお力添えの賜物です。

掛塚がこれからも人が集い、住みよい町であり続けるために、地域の皆さんや関係する多くの方々と力を合わせ、子どもたちが住み続けたいと思える町づくりを目指していきたいと考えています。



みんなと倶楽部掛塚  
10周年実行委員長

## 鈴木 彰

旧津倉邸を拠点として活動を続ける「みんなと倶楽部・掛塚」は、本年、設立10周年という節目の年を迎えることができました。

私が津倉邸の存在を知ったのは、掛塚祭典本部内に設置されていた資料調査部の会合においてのことでした。その席上、会員の一人から「旧廻船問屋・津倉邸住宅が、近く取り壊される可能性がある」との話が持ち上がりました。

当時、資料調査部では、掛塚屋台および遠州地方における屋台について、大工棟梁や彫刻を手がけた彫り師など、制作に携わった職人たちの調査を進め、その成果をまとめる段階にありました。そうした中で、「現在の掛塚において誇るべき文化財産は何か」という議論が交わされ、最終的に行き着いたのが、掛塚屋台であり、掛塚まつりでした。

掛塚まつりは、江戸から明治にかけて掛塚湊として繁栄を極めた時代の姿を、絵巻物のように現代へと伝える祭礼です。京風のお囃子に合わせ、町中を引き廻される豪華絢爛な屋台は、当時の経済的・文化的繁栄を今なお雄弁に物語っています。

その屋台が造られた背景には、旧廻船問屋をはじめとする豪商たちの存在がありました。屋台に用いられる良質な材木の調達、それを加工する木挽き職人、さらには高度な技術を有する宮大工など、廻船業を中心とした人と技術の集積が、掛塚の町に数多くの名工を育んだと考えられます。

そのような歴史の中で、掛塚屋台まつりの源流とも言える旧廻船問屋・津倉邸が失われるかもしれないと知ったとき、私は建物一棟の問題にとどまらず、掛塚の祭文化そのものが消え去ってしまうのではないかという、強い危機感を抱きました。

その後、津倉邸は磐田市へ譲渡され、国の登録有形文化財として保存されることとなりました。現在は、私たちが維持管理業務を担い、会員34名、賛助会員81名とともに、旧津倉邸に集う多くの仲間と1年を通じて活動を継続しています。

この10年は、津倉邸を守り、活かし、次代へとつなぐための歩みでありました。今後は20周年を見据え、若手会員へ円滑に志を引き継ぐことを大切にしながら、掛塚の歴史と文化を未来へと伝えていきたいと考えています。



## 名倉慎一郎

みんなと倶楽部掛塚 事務局長

私は、教員生活の中で、一時文化財保護行政に携わる機会を得、その中で地域の人々たちによる「文化財愛護活動」を各地で見聞することができました。そして、それは住民が文化財に誇りと愛着を持つ活動であり、まちづくりに深くかかわることだと感じました。

退職後、磐田市の歴史文書館に勤めることになりましたが、その直後に津倉家住宅が市に寄贈されました。地元の文化財は地元で守ることが大事であり、それによって衰退している地域を活性化させることができるのではないかと考え、地元の祭りの伝承に取り組んでいる仲間呼びかけて、平成28年に支援団体を立ち上げることができました。立ち上げた当初は、年3回ほどの庭の草取りをするだけでしたが、4年後には、文化財課から、年10回程度の除草・剪定の作業を委託されることになり、翌年には毎月の住宅の窓開・清掃も任されることになりました。

会を立ち上げた頃から、文化財保護行政の考え方が「保存から活用へ」と大きく変わり、静岡県では平成2年に「文化財保存活用大綱」が作成され、「文化財を県民総がかりで守り、観光やまちづくりに活用していく」ことが取り決められました。そして、この大綱を推進するため、文化財の保存活用に積極的にかかわっている団体を「ふじのくに文化財保存・活用推進団体」に認定しましたが、私たちの会もこれに認定されることになりました。その翌年、磐田市の作成した「文化財保存活用地域計画」が文化庁から認定され、その計画の中で、掛塚地区は見付地区とともに「文化財保存活用区域」の重点地区に認定されました。この年、竜洋西会館も竣工し、掛塚地域の活動の拠点となりました。

それに併せて、令和5年には「旧津倉家住宅」、令和7年には「旧関家住宅（つたせ）」が登録有形文化財となり、掛塚の文化財の町並みが注目されるようになりました。令和4年には、登録有形文化財の建物である「旧掛塚郵便局舎」が蕎麦屋に転用されて開店しました。他の文化財建造物も活用が期待されていて、令和7年、「地域おこし協力隊」の3人が旧津倉家に配置され、「かけラボ」を開設して、第2、第3の事例を生み出そうと活動を続けています。湊町の賑わいが戻ってくるのも、もう間近かもしれません。

# 掛塚の歴史

みんなと倶楽部掛塚事務局長

名倉慎一郎

「掛塚」の地名は「欠須賀」に由来すると考えられています。それは、今から六〇七百年ほど前、天竜川が西に大きく流れを変え、砂丘（須賀）を貫いて（欠いて）遠州灘に流れ込み、そこに掛塚の町ができたと考えられるからです。室町時代に万里集九によって書かれた『梅花無尽蔵』には、掛塚にはその既に定期航路が開かれ、そのための施設も整えられていたと思われる内容が記されています。

16世紀の後半の遠江は、今川、武田、徳川などの戦国大名による争いが激しさを増した時代でした。三河から侵攻した徳川家康が、今川氏を掛川城に攻め滅ぼし、氏真は掛塚湊から伊豆戸倉に逃れたといえます。この時、今川氏を支援する北条水軍と徳川家康の軍が掛塚湊で戦闘となっており、掛塚湊は軍港としても利用されていたと考えられます。

江戸時代に入ると、各地に城下町や宿場町が形成され、寺社の建築も盛んに行われて、大量の木材が天竜川を流され、掛塚湊から積み出されました。初期には、遠山川の流域で樽木が伐り出されましたが、享保期には枯渇して、掛塚廻船は桑名湊や四日市湊の年貢米の輸送に従事するようになります。二五〇年ほど前、京都の大火で東本願寺が焼失すると、これを再建するため、地元寺院が水窪から遠

山の山々に探索に入り、その結果2万3千本の材木が掛塚から京都に運ばれたことが記録に残されています。

このような繁栄の中、掛塚では俳諧や国学などの文化的な活動も盛んとなり、掛塚の廻船問屋に養子に入った野口在色は、江戸に出て材木商を営み、著名な俳人となりました。また、貴船神社の関大和は平田篤胤に師事し、川袋の長谷川貞雄は、国学を学んで遠州報国隊に参加し、その後海軍主計総監となり、退職後は貴族院議員として地元のために尽くしました。

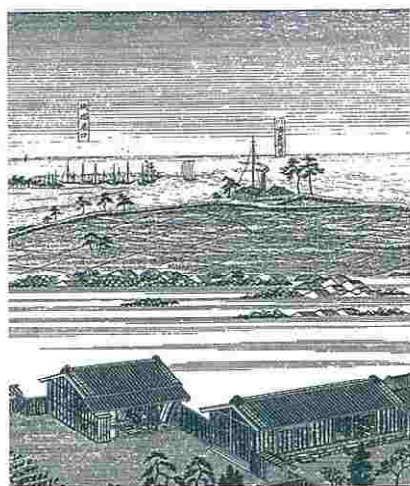
明治に入って職業の自由も保証され、掛塚以外の人たちも廻船業に参入して廻船問屋の数も輸送量も増加し、掛塚は「遠州の小江戸」といわれて賑わいました。明治18年に港湾が造られました。その4年後には鉄道が開通

し、船舶による輸送は次第に鉄道輸送に切り替わっていき、大正期に入ると港湾に出入りする廻船はほとんどなくなりました。

掛塚の廻船が運んだ荷物は材木が中心であり、明治期には大部分が東京の木場に送られました。掛塚には、廻船業に携わる船頭や水夫、日雇などの外、材木の加工に携わる木挽、大工、建具、鋸鍛冶などの職人が高い技術を誇っていました。木挽が行っていた製材は、次第に機械製材に変わり、鉄道に近い中野町方面に工場が作られていきました。また、幕末期に諏訪の立川流の影響を受けた掛塚の大工は、明治期に屋台や寺社の建築などに大きな業績を残しました。

掛塚の廻船問屋は、浜松の豪農、豪商と結び、金融業や製材業に進出しました。静岡銀行のもとをつくった平野又十郎や、天竜木材の社長を務めた稲勝家などはその例です。掛塚においても福長飛行機株式会社や掛塚自動車株式会社が作られました。しかし、長く続くことはありませんでした。しかし、日本初の旅客機が当地で作られ、飛行したということは特筆されるべきことと思います。

このように、掛塚の地に刻まれた多くの歴史を後世に伝えていきたいものです。



掛塚湊と製材所  
川島平次郎 郎の銅版画の一部

平成28年

# 2016

講演会  
「津倉邸・掛塚のすばらしさ」

みんなと倶楽部掛塚  
正式発足

見学会「松ヶ岡山崎家を訪ねる」  
掛川市旧山崎家、竹之丸、常川市黒田家住宅

津倉邸見学会を開催

講演会及懇談  
「廻船問屋の歴史」(名倉博一郎)

講演会「松下家の記憶」  
(文化財課 竹内主幹)

津倉邸の草取り

視察「古民家を尋ねる」  
滝田家(常滑市)・庄中荘家(半田市)



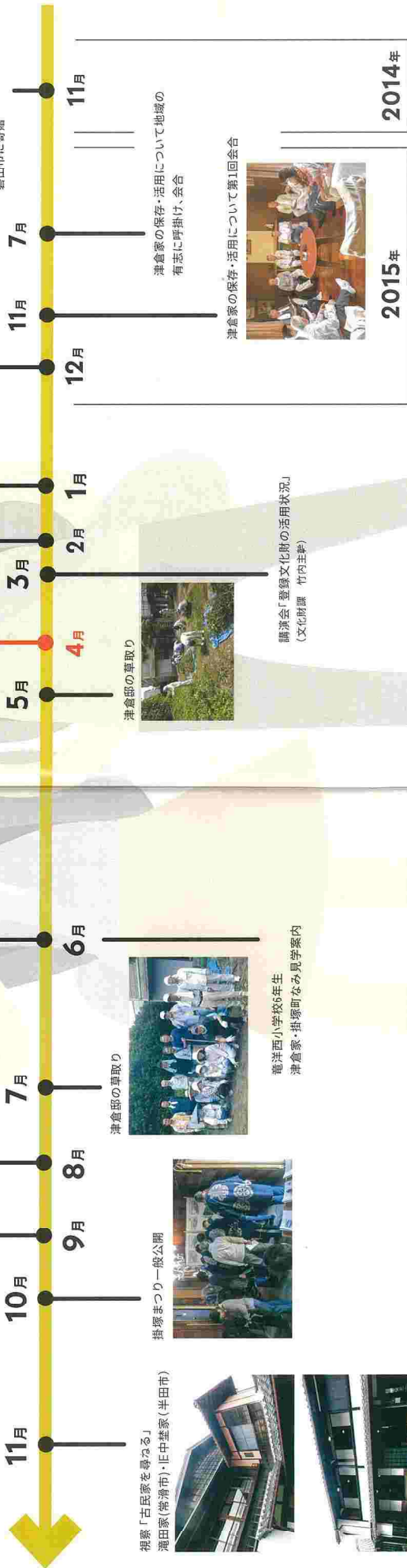
掛塚まつり一般公開



津倉邸の草取り



竜洋西小学校6年生  
津倉邸・掛塚町なる見学案内



平成29年

# 2017

掛塚まつり津倉邸・田掛郵便局一帯公開 来場者約200人



講演会  
「長谷川貞雄」(長谷川敬男氏)



掛塚まち歩き



見学会 郷土資料館



竜洋西小3年生「郷土学習」



草取り

草取り

草取り

草取り

草取り

草取り

草取り

草取り

草取り

草取り

草取り

草取り

草取り

草取り

草取り

草取り

草取り

草取り

草取り

草取り

草取り

草取り

草取り

草取り

草取り

草取り



10月

9月

8月

7月

6月

5月

4月

3月

2月

1月

新年会

津倉家倉庫ペンキ塗り作業

新年会

竜洋西小6年生 まち歩き



初祭

「金原明善記念館、花塚の庄、旧田代家」



天龍川の流域を回るツアーでした。あちこちで掛塚とのつながりを見つけて連帯感が生まれたよ。名倉慎一郎

平成30年

# 2018

「いじやまいかけつか・夏」約1000人

津倉邸公開



掛塚まつり 一般公開



12月

視察  
(上野柳屋敷、ホウシ峠民俗文化伝  
承館、津倉家持山)



9月

草取り、樹木剪定

旧掛塚郵便局で丘浅次郎展開催



8月

盆踊り、よさこい、屋台獅子演奏・夜店・  
宝くじ等



バラエティ豊かな出演者の皆さまのおかげで、た  
くさんのお客様さまに楽しんでいただきました。ま  
くじもあって、ドキドキワクワク！  
さて結果は？ - 必下和弘

「いじやまいかけつか・春」約500人

伊豆石の蔵展(旧掛塚郵便局)



津倉邸公開  
掛塚まち歩き



7月

草取り、樹木剪定  
竜中学生ボランティア参加



掛塚寄席(西光寺)



6月

草取り、樹木剪定

竜洋西小3年生まち歩き

勉強会  
「3年目の活動に向けて」

倉庫の手摺りのさび止め作業



5月

3月

念願だった「掛塚寄席」。企画から準備、チケット販売から当日まで  
慣れない作業に大変闘い、看板作りで夜なべをしたり、チラシ作りで燃  
えたり、まさやかなプレゼントを準備したり。迎えた当日は掛塚の中  
通りに人混みが！たくさん笑顔に会えて疲れも吹っ飛び、とにかく  
楽しい1日でした。 - 山内紀子

# 2019

「和装展」和装文化研究会



京都の呉服屋さんと着物屋さんたちとのコラボで、風情を残す町なみに和装の男女が行き交いました。津島部では抹茶の席も。かつての港町の賑わいが偲ばれるひと時でした。-大崎たまよ-

掛塚まつり 一般公開  
旧掛塚郵便局「郵便の歴史展」



「福長飛行機展」at.旧掛塚郵便局



掛塚・蟹町の天童川原に100年前に創設された福長飛行場は、日本航空史の黎明期に飛行機製作と民間飛行家の養成をしました。日本初と言われている旅客機も制作しました。関東大震災の時は、福長飛行場から、公文書や郵便物、救援物資の空輸に活躍しました。当時の写真や資料が展示されました。当時の掛塚には、海の浜と空の港がありました。-榎原昇-

「いじやまいかけつか・暮」約500人



江戸から開港する際、空荷となった船のハラストとして積んできた伊豆石は磁等の外壁に使われました。今も郵便が現存しており、往時の面影を伝えています。-細田平-

11月

まち歩き・ワークショップ  
都市計画家協会静岡支部との交流



都市計画家協会の方々とは街歩きを行いました。見慣れた掛塚の町なみも、経路豊かな方々の視点から見ること、改めて「観光資産」としての可能性を認識。ワークショップでの多様な意見は、今後の活動への大きなヒントとなりました。-松下孝-

10月

草取り、樹木剪定、定例会

床、格子修理

草取り、樹木剪定、定例会

視察「新居町と中根金作の庭」  
(新居町ろネット)



小松様まちづくり交流館を拠点に活動する皆さんの情土愛が伝わってききました。-兼子しづ子-

9月

草取り、樹木剪定、定例会

草取り、樹木剪定、定例会  
障子の張り替え



暑い中でしたが、いつもの草取り、樹木の剪定だけでなく、今回は皆さんで力を合わせて、障子の張り替えにも取り組まれました。古い紙を濡らして、剥がして、障子の襷をきれいにし、糊を付けて、新しい紙を貼って、少し遅くとも新しい障子ができあがりました。-新井研子-

8月

草取り、樹木剪定

7月

総会  
草取り、樹木剪定

5月

草取り、樹木剪定

3月

定例会

1月

新年会  
会則制定

「ふるさとの自然歴史講座」  
旧田代家

ミニライブ at.西光寺



ライブ会場はみんなで歌って大盛り上がり！忘れられない最高の思い出をありがとう！-鈴木小百合-

第二回掛塚寄席(西光寺)



磐田出身の三遊亭團王さん、三笑亭可風さんを迎えての掛塚寄席は沢山の笑いに包まれました。-頼田茂巳-

津島家の庭でお茶会



津島家庭でお茶会。嬉しいことに60人分の抹茶とお菓子は完売、学生さんの褒め声も大好評でした。-新村研子-

令和2年

# 2020

ドウダツツジ連載



旧津倉家住宅見学会  
(藤田クスノキ大学)



電洋西小3年生まち歩き  
(電洋のすてきさがし)

草取り、樹木剪定  
換気・清掃、定例会

12月



電洋西小6年生まち歩き

草取り、樹木剪定  
換気・清掃  
定例会

視察「見付の蔵」  
見付宿を考える会との交流会



ミュージックビデオ撮影会  
(和の姿つたら)



11月

草取り、樹木剪定  
換気・清掃、定例会

10月

写真展

ポケットガイド「掛塚歴史さんぽ」作成



草取り、樹木剪定  
換気・清掃  
定例会

9月

旧津倉家住宅見学会  
(藤田市厚付水堀自治会)



草取り、樹木剪定  
換気・清掃、定例会

8月

草取り、樹木剪定  
換気・清掃  
定例会

旧津倉家住宅見学会(ふれあいガイドの会)

総会  
草取り、樹木剪定  
換気・清掃

草取り、樹木剪定  
換気・清掃  
定例会

1月

新年会

2月

草取り、樹木剪定  
換気・清掃  
定例会

3月

花壇完成

4月

草取り、樹木剪定  
換気・清掃  
定例会

5月

草取り、樹木剪定  
換気・清掃、定例会

6月

市民活動パネル展に参加

7月

草取り、樹木剪定  
換気・清掃、定例会

北側の花壇整備

講演会「磐田地域市民活動の現状と課題」  
三輪邦子氏 at. なぎの木会館



旧津倉家住宅見学会  
掛塚厩台碓子保存会



若い世代が多い掛塚厩台碓子保存会役員の皆さんが雑草処理を見学。今後の連携に向け、約2時間の勉強会を行いました。-松山真

障子張り



令和3年

# 2021

講演会「掛塚大工・小栗家」  
(小栗 宏之)



木材の精出しで染めた掛塚では、熟練の匠が腕を競い合っていました。その足跡が後世に伝えられますように。-小栗 宏之-

公開見学会(機織掛軸・廻船絵公開)



スクービーのインスタビューを受けました。



公開見学会(機織掛軸・廻船絵公開)

草取・剪定  
(中学生ボランティア16人)  
換気・清掃、定例会



草取り、樹木剪定  
換気・清掃、定例会

9月

8月

電洋郷土資料館見学



玉置川の上流から筏で運ばれた木材を製材するために木挽きが使用された大きなノコギリが展示されており、当時の仕事、生活に思いを馳せることが出来ました。-鈴木 野矢-

12月

11月

旧津倉家住宅見学会  
草取・剪定換気・清掃  
定例会

草取・剪定  
(中学生ボランティア11人)  
換気・清掃、定例会

電洋西小6年生まちなみ歩き  
(3クラス95人)



みんなと倶楽部からユニフォーム姿で8人が参加し、約3時間の街歩きを無事に終えることができました

「ふじのくに」文化財保存活用推進団体  
認定書授与式



7月16日、桑田市が選定した「文化財保存活用地域計画」が認定され、県庁にて認定書授与式が行われました。

草取・剪定(中学生ボランティア4人)  
換気・清掃、定例会



7月

旧津倉家住宅案内



今日は浜松市から書物クラブの女性3人が見学に訪れました。みんなと倶楽部の活動に共感してくださる一人が運動委員として入会。また少し輪が広がりました。

草取・剪定(中学生ボランティア11人)  
換気・清掃、総会



まちなみ歩き・勉強会  
電洋西小職員・西地区自治会役員



地元に住んでいても詳しいことは知りませんでした。参加して穴山の状況がありました。-高野 博行-

電洋西会館内覧会「むかしの写真展」



電洋西会館開館記念の写真展で、掛塚地区の昔の写真が展示されました。昔の町の様子や祭展の様子が分かります。-稲垣 昇-

6月

5月

草取り、樹木剪定  
換気・清掃、定例会

草取り、樹木剪定  
換気・清掃、定例会  
まちなみ勉強会

講演会「投稿と私」(磯部 節子)



日々のお出来事的心境をペンに綴り、また、淡いタッチで描いたイラスト作品を25年前から新聞に投稿。旧津倉家とみんなと倶楽部、掛塚祭りなども投稿してくれました。-水津 利行-

4月

3月

草取り、樹木剪定  
換気・清掃、定例会

草取り、樹木剪定  
換気・清掃、定例会

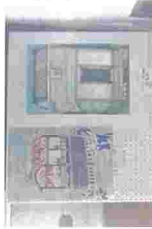
令和4年

# 2022

草取り、樹木剪定  
(中学生ボランティア10人)  
換気・清掃、定例会



公開展覧会・絵画作品展



夏休みに津倉邸で描いた子供達の絵や会員の作品展です。初めての町中文化展を多くの人に見ていただきました。-津倉邸-

講演会

長谷川智 at. なぎの木会館

草取り、樹木剪定  
(中学生ボランティア15人)  
換気・清掃、定例会

草取り、樹木剪定  
(中学生ボランティア16人)  
換気・清掃、定例会

8月

9月

夏休み 写生会開催



草取り、樹木剪定(中学生ボランティア13人)  
換気・清掃、定例会

津倉家の庭で2回目のお茶会



当日は昼前の中、他の催しは大盛況。早茶のお客様は6人で、少し残念でした。-新村野子

まち歩き



列の後方で黄色い旗を持ち大きな声で誘導。よそ者の私でも一役こなせた喜びと満足感！-新村野子

視察

横山・旧青山邸、旧赤松家記念館



青山邸では手入れが良く行き届き、其々の木の美しさが見られました。赤松家の柱や梁等は歴史を添ひまませ則良の人物像とも重なり合う重厚な建物です。-津田節郎

講演会

長谷川智 at. ワークピア

5月

6月

総会  
草取り、樹木剪定(中学生ボランティア10人)  
換気・清掃

旧津倉邸見学会 西小生



草取り、樹木剪定、換気・清掃  
定例会

草取り、樹木剪定、換気・清掃  
定例会

旧津倉家住宅見学会(頼田まちづくりネットワーク)

換気・清掃  
定例会

3月

2月

コネスコ協会

1月

赤松剪定

換気・清掃  
定例会

赤松剪定

樹木医による赤松の診断調査



静岡県文化財ガイド講習会(歴史文書館)  
豊田市文化財保存活用地域計画説明会(竜洋西会館)  
旧津倉家住宅見学会(唐田コネスコ協会)  
換気・清掃、  
定例会

令和5年

# 2023

視察

山梨県根津記念館



厚川町の紅葉もちらほら開かれ、根津邸の豪華さに圧倒される研修旅行でした。ガイドの方による邸内の説明も、益のガイド基礎としても参考になりました。大層なまよ

草取り、樹木剪定  
(中学生ボランティア21人)



絵画作品展  
換気・清掃  
定例会

12月

換気・清掃  
定例会

草取り、樹木剪定  
(中学生ボランティア17人)

換気・清掃  
定例会

旧津倉家住宅見学  
交流会



公開見学会



草取り、樹木剪定  
(中学生ボランティア23人)

換気・清掃  
定例会

子ども写生会



夏休みに、津倉邸の大きな庭園や伊豆石の蔵や庭を楽しく描きました。  
-福屋野

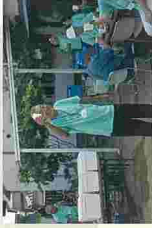
8月

換気・清掃  
定例会

講演会「旧津倉家住宅の魅力」  
鈴木敬雄氏

津倉邸の有形文化財登録記念講演を聴いて、津倉邸がいかに大切な建物かということがよくわかりました。みんなが倶楽部に参加して3年目になりましたが、毎月行なっている津倉邸の草取りと清掃に今後ますます励みをかけて、次世代へと引き継いでいきたいと思いま

いじやまいかけつか 夏・納涼祭



夏の風い中みんなとクラブの仲間と準備を終え者ち一杯は格別です。これも楽しみの一つです。-松山陸世

竜洋西小学生 まち歩き

換気・清掃  
定例会

旧津倉家住宅見学  
換気・清掃、定例会

7月

草取り、樹木剪定  
(中学生ボランティア16人)

換気・清掃、定例会

いじやまい掛塚 春



この日は慣れないマイクと緊張でうまく尺八の音が出せなくてごめんなさい。-青田伊祥美

旧津倉家住宅  
国登録有形文化財に

換気・清掃  
定例会  
修理

4月

換気・清掃  
定例会

「鶴田土木Loveフェスタ」協賛



「河川敷広場のスタート」協賛  
歴開催に子供達が集まってブルトーザー等に導かれて楽しみました。その後津倉邸までできてくれました。ありがとうございました！-野野村行

2月

換気・清掃  
定例会

静岡県文化財ガイド講習会(歴史文庫館)

歴史遺産を生かす地域活動研修  
換気・清掃、定例会

1月

視察

伊勢神宮・伊勢大湫・関宿



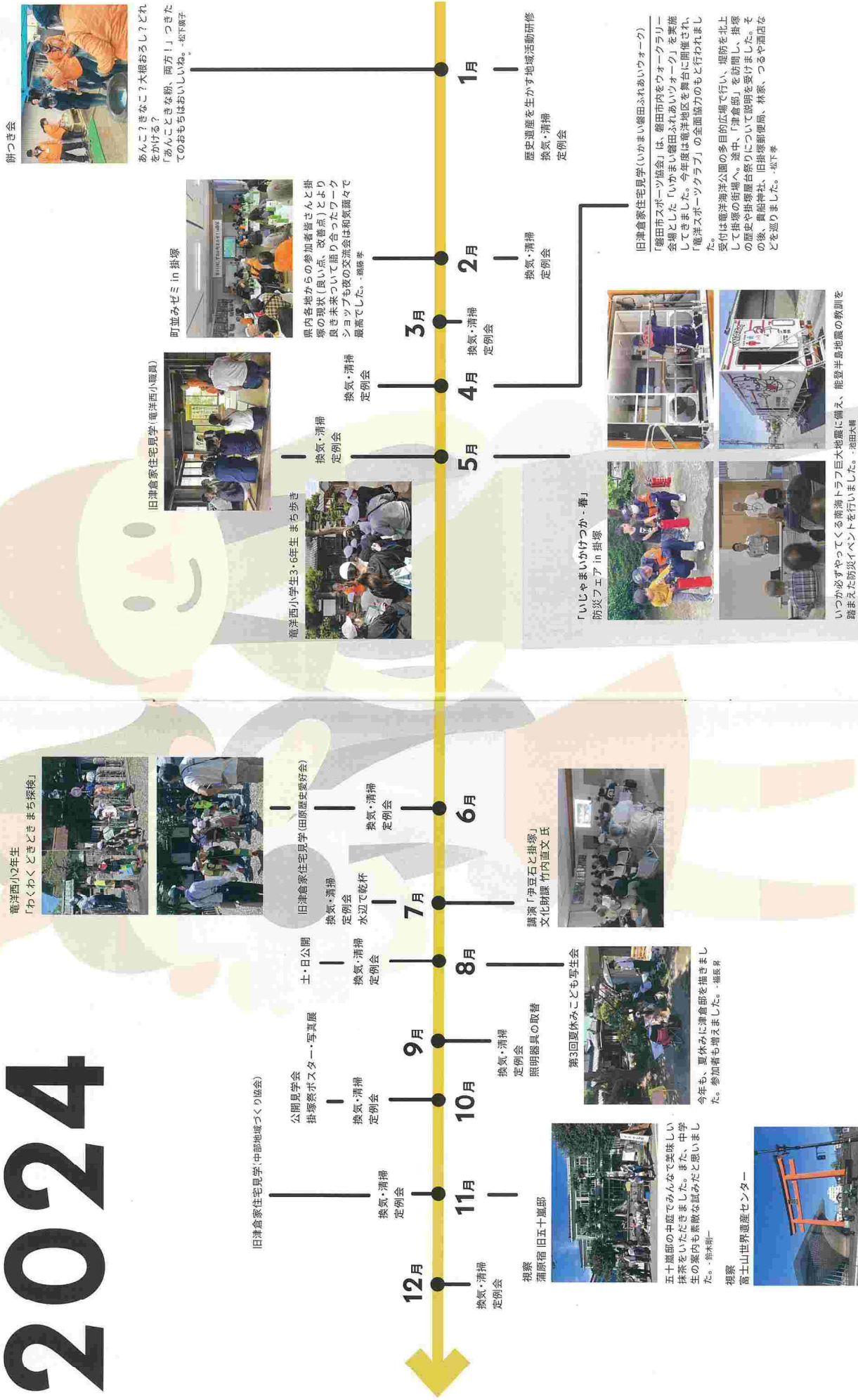
餅つき大会 開催



俳楽部の鈴木幸雄さんの白と杵をお借りして、初の餅つき大会！よいしょよいしょと楽しい掛け声が津倉邸の庭に響きました。

令和6年

# 2024



あんど? きなこ? 大根おろし? どれをかける?  
「あんど? きなこ? 大根おろし? どれをかける?」つぎたのおもちはおいしいね。-松下康子



町並みゼミ in 掛塚

県内各地からの参加者皆さんと掛塚の現井(風い点、改題点)とより良き未来について語り合ったワークショップも夜の交流会は和気藹々で最高でした。-藤原琴



旧津倉家住宅見学(竜洋西小職員)



竜洋西小学生3・6年生 まち歩き

換気・清掃 定例会

換気・清掃 定例会

3月

2月

1月

歴史遺産を生かす地域活動研修  
換気・清掃  
定例会

換気・清掃  
定例会

4月

5月



「いじやまいかけつか・暮」  
防災フェア in 掛塚



いつか必ずやってくる南海トラフ巨大地震に備え、能登半島地震の教訓を踏まえた防災イベントを行いました。-津田快輔

旧津倉家住宅見学(いかまい藤田ふれあいウォーク)

「旧津倉家住宅見学」は、龍田市内をウォークラリー会場とした「いかまい龍田ふれあいウォーク」を実施してきました。今年度は竜洋地区を舞台に開催され、「竜洋スガガツクラブ」の全面協力のもと行われました。受付は竜洋海洋公園の多目的広場でいい、龍防を北上して掛塚の街場へ。途中、「津倉邸」を訪問し、掛塚の歴史や掛塚屋台祭りについて説明を受けました。その後、真船神社、旧掛塚郵便局、林家、つるや酒店などを巡りました。-松下琴



講演「伊豆石と掛塚」  
文化財課 竹内直文氏

換気・清掃 定例会

換気・清掃 定例会

7月

8月

9月

10月

11月

12月

換気・清掃 定例会

換気・清掃 定例会

換気・清掃 定例会

換気・清掃 定例会

換気・清掃 定例会

換気・清掃 定例会

換気・清掃 定例会



第3回夏休みこども写真会  
今年も、夏休みに津倉邸を描きました。-藤原



祝祭 五十嵐邸  
祝祭 五十嵐邸の中庭でみんな美味しく抹茶をいただきました。また、中学生の案内も素敵なおもてなしでした。-新木剛一



祝祭 富士山世界遺産センター

令和7年

# 2025

河川敷草刈り、階段竣工



「取っ手付き階段完成」自然散歩、水辺への観察に使ってね！河川敷緑防はコンクリート階段の設置、津倉邸まで自由に行けます。ありがとう！・吉野町

視察「桑名六華苑、石取祭り会館、なばなの里」



ジョサイア・コンドルが手掛けた洋館が特長の2代目江戸蒲六の「大蔵苑」と初代の全国に例を見ないお城と加藤のような大蔵邸、大庭園を興味深く視察しました。・大津町

竜洋西小3年生課外授業



夏休み 写生会



いわた大祭り 大名行列に参加



掛袴が江戸時代に木村を運ぶ港町として栄えたことになり、藩主が木村を焼分する様子再現した寸劇はとも行われました。・津田大輔

大名行列が掛袴にやってきました！新町の陣幕子一行も砂町公園へ。大勢の見物客が現る中、江戸へ運ぶ木村を焼分する寸劇もあり、会場は笑いにもあふれていました。・山内紀子

金折町サロンの皆さん、津倉邸見学



総会

西小まち歩き



静岡産業大学4年生・中学生 草刈り・まち歩き



津倉邸案内看板完成



念願の看板が完成。何より嬉しいのが、家と看板両者が引き立って合っているところです。・鈴木彰

餅つき会



準備は大変だったけど終わってみればみんなの笑顔と「美味しかった」の言葉が嬉しかった。・黒田正子  
餅つきときな粉と大根おろし、全部おいしかった！・小笠原守之助



12月

11月

10月

8月

6月

5月

4月

2月

1月

津倉邸公開  
津倉邸にかけろボオフィス開設



歴史講話と社寺古墳探訪in御座鎌田地区



土日の公開・夏休み自由研究



西小まち歩き



いじやまい掛塚春



換気・清掃  
定例会



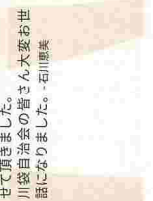
町並みゼミ in 伊豆箱根



掛塚まちづくりワークショップ



踊らう会 八雲神社大祭りで盆踊り



八雲神社大祭りに初めて参加させて頂きました。川委自治会の皆さん大変お世話になりました。・石川隆美





みんなと倶楽部 掛塚ホームページ  
<https://minnato-club.jp/>



みんなと倶楽部 掛塚 Instagram